

中東地域秩序の行方

—「アラブの春」と中東諸国の対外政策—

土屋一樹 編

情勢分析レポート No.19

中東地域秩序の行方

——「アラブの春」と中東諸国の対外政策——

土屋 一樹 編

アジア経済研究所
IDE-JETRO

目 次

序 章	地域秩序と「アラブの春」 …………… 土屋一樹	1
	はじめに	1
	第1節 中東諸国の人口と経済規模	2
	第2節 中東地域秩序の変動	6
	第3節 本書の概要	9
	おわりに	13
第1章	エジプトの対外政策と地域秩序 …………… 土屋一樹	15
	はじめに	15
	第1節 ナーセル政権からムバーラク政権まで	16
	第2節 1.25革命後の国内情勢	18
	第3節 ムルシー政権の対外政策	22
	第4節 新生エジプトと地域秩序 ——「アラブの春」のインパクト——	28
	おわりに	32
	付記	35
第2章	「アラブの春」をめぐるトルコの対外政策 ——経済・安全保障環境の変化と中東地域秩序の今後—— …………… 岩坂将充	37
	はじめに	37
	第1節 トルコの対中東政策	39
	第2節 「アラブの春」前のエルドアン政権と対中東政策	42
	第3節 「アラブの春」後の変化とその方向性	53
	おわりに	57
	付記	62
第3章	「アラブの春」への対応にみるイラン対外政策の現状 …………… 坂梨 祥	65
	はじめに	65
	第1節 イランにとっての「アラブの春」	66
	第2節 「アラブの春」へのイランの対応	69

第3節	イランの取り組みへの制約	72
	おわりに	76
	付記	82

第4章	カタル外交の戦略的可能性と脆弱性 ——「アラブの春」における外交政策を事例に——	堀抜功二	83
------------	--	------	----

	はじめに	83
	第1節	カタル外交の特徴 85
	第2節	「アラブの春」とカタル外交 88
	おわりに	94
	付記	97

第5章	アラブ首長国連邦の対北アフリカ経済協力の変化	齋藤 純	99
------------	-------------------------------	------	----

	はじめに	99
	第1節	UAEにおける「アラブの春」 100
	第2節	湾岸アラブ諸国の北アフリカ経済協力 101
	第3節	湾岸アラブ諸国の経済援助の現状 105
	第4節	UAEの経済協力の変化 108
	第5節	考察——UAEの北アフリカ経済協力の意義と 地域秩序への影響—— 117
	おわりに	122

第6章	サウジアラビアの穏健イスラームへの転換と 地域秩序における役割	辻上奈美江	131
------------	--	-------	-----

	はじめに	131
	第1節	サウジアラビア版「アラブの春」と政府の反応 132
	第2節	女性の自動車運転解禁運動へ 133
	第3節	穏健イスラームに向けた宗教界改革 134
	第4節	女性を対象とした改革と身体の管理 136
	第5節	穏健イスラームへの転換と「アラブの春」後の地域秩序 139

第7章	綱渡りの暫定政権——イエメン——	佐藤 寛	143
------------	-------------------------	------	-----

	はじめに	143
	第1節	国民対話準備の遅れ 143
	第2節	引き続く治安攪乱三重苦 149

第3節	移行プロセスの阻害要因と周辺国, アメリカ, 国連の役割	155
第4節	自立への動き	157
第5節	アラビア半島の国際関係と今後の展望	160

第8章 湾岸アラブ諸国における国民と移民

——国籍に基づく分業体制と権威主義体制——

..... 松尾昌樹 169

はじめに 169

第1節 分析課題の抽出 171

第2節 検証——分業体制と移民の役割—— 179

第3節 議論——国籍別分業体制と権威主義体制の柔軟性—— 189

第4節 結論 191

あとがき 195

索引 196

執筆者紹介 202

【数字・アルファベット】

- 1.25革命 16, 18, 19, 21-23, 29, 30, 35
 100日計画 21, 33
 1952年革命 6
 9.11同時多発テロ事件 8, 12, 132
 AKP 37-39, 42, 43, 47, 53, 54, 59, 62, 63
 ANAP 40, 43
 AQAP 148, 151, 152, 155
 BDP → 平和民主党 54, 58, 62, 63
 CIA 137, 141, 154
 DAC 101, 104-107, 110, 114, 126
 EU 23, 24, 32, 37, 38, 40, 41, 43-46, 48, 49,
 52, 57, 77, 126
 Facebook 88, 134, 137, 169
 FDI 55, 60, 98, 102, 104, 112, 114, 115, 117,
 118, 122, 123
 FP 37
 GPC 144, 161
 IMF 21, 33, 37
 KRG → クルディスタン地域政府 50, 52, 58,
 59, 62
 LNG 86, 95, 153
 MGK → 国家安全保障会議 44-46, 59
 MGSB → 国家安全保障政策文書 42, 45-47,
 59
 MÜSIAD → 独立産業実業家協会 43
 NATO 40, 41, 55, 67
 OCFA 110, 111
 ODA 100-102, 104, 106-111, 114, 115, 117,
 122, 123, 126
 OOF 101, 102, 110-112, 115, 126
 PF 101
 PJK → クルディスタン自由生命党 52
 PKK → クルディスタン労働者党 41, 42, 45-
 47, 50, 52, 54, 55, 58-60, 62
 PYD → 民主統一党 55, 62
 QIZ 協定 30, 34
 RP 37, 41, 43, 54
 TÜSIAD → トルコ産業実業家協会 43
 TUSKON → トルコ実業産業家連合 43
 UAE 3-6, 9, 11, 14, 35, 47, 55, 85, 88, 91,
 93, 96, 98, 100, 103-115, 117-123, 126,
 127, 156, 169
 —— 海外援助調整局 → OCFA 110, 126
 —— 赤新月社 111, 112

【あ行】

- アーバル 119
 アール＝シャイフ 135
 赤本 → 国家安全保障政策文書 42
 アジャミー 95
 アシラ 112
 アタテュルク 39, 41, 59
 —— 主義 39, 41, 46
 アッターズ 151
 アッバス 34
 アデン 151-154, 158, 159, 162-165
 アナトリア 43, 52
 アハマド 146-148, 162
 アフガニスタン 40, 59, 87, 151
 アブダラー 78, 117, 119, 120, 156
 アブダビ開発基金 111, 115, 120
 アブドゥッラー 95, 98, 134-136, 138
 —— 科学技術大学 135
 —— 国王宗教研センター 135
 アブドゥルワッハブ 132
 アブドルカーデル・アルヒラール 158
 アフマディーネジャード 71, 75, 79
 アフマド・ビン・アブドゥッラー・アル＝マ
 フムード 95
 アフマド・ビン・アリー 85
 アブヤン 152-155, 163, 164
 アフリカ連合 23, 25
 アメリカ 6-9, 12, 16, 17, 23, 26-28, 30, 31,
 34, 40, 52, 62, 95, 104, 107, 117, 132,
 137, 138, 144, 145, 147, 148, 150, 152-
 157, 160, 162, 165, 195
 新たなワッハブ主義 131, 139

- アラビア半島のアルカーイダ → AQAP 148, 151
- アラブ基金 105
- アラブ社会主義 6, 7, 16
- アラブ首長国連邦 → UAE 3, 11, 14, 85, 98
- アラブの春 9-13, 16, 28, 37-39, 42, 47, 53-55, 58, 60, 65-67, 69, 71, 72, 75, 76, 83, 84, 87-90, 92-96, 98, 100, 103, 104, 106, 109, 111, 112, 115, 117-120, 122, 123, 126, 131-133, 135-137, 139, 140, 143, 152, 157, 160, 161, 165, 169-171, 190, 195
- アラブの盟主 6, 15-17
- アラブ民族主義 6, 15, 16, 33, 190
- アラブ連合共和国 33
- アラブ連盟 7, 17, 57, 70, 83, 89, 91
- アラムコ 134
- アリ・フセイン・アルアハマディ 148
- アリ・ムハマド・アルアンシ 148
- アリー・ナーセル・ムハンマド 151
- アル＝アサド 38, 52, 83
- アル＝ジャズイーラ 29, 87, 90, 91, 96
- アル＝シャリーフ 134
- アル＝フマイン 135
- アルアハマル 146, 147
- アルカーイダ 45, 145-155, 157, 159, 162-165
- アルジェリア 4, 8, 103, 104, 126
- アルシャバーブ 152
- アルハック党 150
- アルビード 151
- アルホーシー派 145, 150, 154, 155, 157, 162, 164, 165
- アルボガン 44
- アンサール・アルシャリーア
- アンサール・シャリーア 153, 163
- イエメン 2, 9, 11, 12, 38, 55, 57, 103, 104, 109, 111, 112, 122, 131, 143, 144, 146, 147, 149-165, 169
- の友 156
- イスラーハ党 150, 157, 161, 162
- イスラーム開発銀行 26, 105
- イスラーム解放運動局 68
- イスラーム革命 66, 77, 79, 85
- イスラーム過激派 17
- イスラーム協力機構 23, 24, 70
- イスラーム主義 7, 8, 18, 90, 91, 93
- イスラーム首長国 153
- イスラエル 5, 7, 15-17, 22-28, 30, 33, 34, 38, 42, 52, 53, 65, 70, 74, 84, 95, 154, 161
- イスラモフォビア 24
- イニョニユ 39, 40
- 移民人口 170, 173
- 移民労働 12, 174-178, 185, 186, 192
- イラク戦争 7, 8, 17, 49, 68, 69, 74, 79, 85
- イラン 2-11, 15, 23-25, 28, 29, 31, 38, 40, 42, 45, 47, 48, 52, 53, 55, 57-60, 65-79, 82-85, 95, 98, 140, 157, 160, 161, 172, 192
- ・イラク戦争 7, 85
- 革命 7, 74, 77
- 核問題 71, 72, 78
- ヴェラーヤテ・ファギーフ 75, 79
- 英国 85, 92
- エジヴェイト 40, 41, 44
- エセブシ 120
- エチオピア 23
- エマール社 115, 116
- エルドアン 10, 37-39, 42-47, 50, 52-55, 57-59, 62, 63
- エルバカン 37, 38, 41
- オイルショック 3, 4, 7
- オイル・ブーム 190
- オイルグラット 192
- 欧州経済共同体 40
- 欧州評議会 40
- オザル 40-43, 53, 59
- オジャラン 42, 50, 58, 59, 62
- オスロ合意 7
- オゼル 54, 57
- オランダ病 172, 174
- 【か行】
- 外貨不足 26
- 海外直接投資 → FDI 55, 98, 100
- 外国人観光客 19
- 外国人労働者 3, 136-138
- 開発援助委員会 → DAC 101

カイロ 8, 14, 18, 24, 30, 32, 78, 151, 162
核開発問題 38
核技術開発 → イラン核問題 69, 71, 72, 75, 76
革命の輸出 65, 68, 69, 73, 74, 76-78
革命防衛隊 68, 74, 76, 77
ガザ 25, 52
カタル 3, 5, 6, 9, 11, 14, 26, 27, 29, 30, 33-35, 71, 77, 82-98, 103, 104, 115, 118, 119, 121, 131, 169
カッターフィー 55, 57, 91, 92
カハタン 153
カファラ制度 175, 176, 191
カフィール 176
カブース 119
カラダウイー 89-91, 96, 98
カルダク島 59
カルバラ 73
ガルフ・イニシアチブ → ガルフ合意 143
ガルフ合意 143-146, 151, 152, 155, 156, 161-163
韓国 32, 34
勸善懲惡委員会 134-136, 141
キプロス 40
旧カシーリー首長国 163
ギュル 30, 42, 46, 57, 59
業務別就労人口 179, 187
共和国防衛隊 146, 153
ギリシャ 40, 41, 44, 45, 47, 59
近隣諸国とのゼロ・プロブレム 10, 38, 42, 43, 53, 55, 58
クウェート 4-6, 9, 11, 12, 14, 68, 79, 93, 103-108, 119, 121, 126, 156, 171, 179, 181-191
—— ・アラブ経済発展基金 121
クーデター 35, 40, 43, 44, 47, 53, 54, 68, 85, 95, 98
グランド・バーゲン 74, 79
クルディスタン自由生命党 52
クルディスタン地域政府 49
クルディスタン労働者党 41
クルド分離主義 45
クルド問題 9, 10, 45, 47, 49, 50, 52-55, 57-59, 62, 63

軍最高評議会 18-20, 27, 33, 90
君主制国家 11, 88, 93
経済協力機構 41
ゲズイ公園 62, 63
ケマリズム → アタテュルク主義 39
権威主義国家 170
公正発展党 → AKP 37
国籍別分割労働市場 174, 177, 188, 189
国籍別分業 174-178, 181, 182, 187-189, 191
国民対話 12, 143-145, 147, 148, 150, 151, 153, 155-158, 161-163, 165
国連安全保障理事会 52, 71, 91
国連総会 23, 24, 78, 135
コシヤネル 53, 54
国家安全保障会議 44, 45, 154
国家安全保障政策文書 42
黒海経済協力機構 41
コプト教徒 18
ゴム 73

【さ行】

サアダ 40, 150, 164, 165
サアダールバード条約 40
サーニー家 85
サーマ・ドバイ社 115, 116
サーレハ 12, 131, 143-148, 150-153, 156, 159, 161-163
サイード・シヤハリ 148
最高ウラマー評議会 135, 141
財政赤字 19-21, 26
ザイド派 150, 157, 165
サウジ信用貯蓄銀行 133
サウジ中央統計局 137
サウジアラビア 3-9, 11, 12, 14, 15, 23-25, 27-29, 35, 47, 55, 57, 67-71, 76-78, 83, 85, 88, 96, 98, 103-108, 114, 118, 119, 121, 126, 131-141, 147, 155, 157, 160, 169, 170
—— 開発基金 121
サダト 16, 17
サッダーム・フセイン 69, 74
サナア 144, 146-148, 150, 152-154, 156, 158, 159, 161, 163, 165

ザンジバル 153, 164
 産油国 4-7, 15, 16, 27, 86, 98, 100, 117
 シーア派 65, 67-69, 73, 74, 76, 78, 79, 131-
 133, 140, 150, 157, 178, 179, 190, 191
 シーシー 35
 GCC → 湾岸協力会議 12, 26, 58, 67, 68, 77,
 79, 84, 88, 89, 91, 93-95, 98, 119, 121,
 122, 127, 143, 148, 156, 160, 170
 シェイク・アルダバーブ 164
 ジェム 41
 ジッダ 132, 137, 141
 至福党 38
 社会関係資本 160
 社会公正 22, 24
 ジャスティニーヤ 134
 ジャスミン革命 98, 117
 シャフィーク 20
 シャラフ 90
 シャリク清掃キャンペーン 158
 自由公正党 90
 ジュネーブ合意 75
 ジョウフ 154
 女子教育庁 135
 ジョンソン米大統領 40
 シリア 7-11, 13, 15, 16, 24, 25, 31, 33, 38,
 42, 45, 52, 53, 55, 57, 58, 62, 63, 65-67,
 69-72, 74, 76-79, 82, 83, 87, 89, 90, 93,
 95, 96, 98, 103, 104, 112, 131, 140, 161,
 190, 195
 —— ・コンタクト・グループ 70, 78
 真珠広場 170
 人民抵抗委員会 154, 164
 スーダン 17, 24, 34, 160
 スエズ 71, 78
 スタンドバイ協定 21, 33
 スペイン 115, 135
 スンニー派 132, 140
 政軍関係 37, 39, 44, 46, 52, 54, 58
 政府開発援助 → ODA 101, 106, 108
 総合人民会議 → GPC 144
 祖国党 → ANAP 40
 その他政府資金 → OOF 101
 ソマリア 24, 152
 ソ連 6, 7, 16, 40, 41

【た行】

ターミール 121
 ターリク・アルファドリ 164
 ターリバーン 87
 ターレク・サーレハ 146
 第3次中東戦争 6
 第4次中東戦争 7
 タイズ 146, 153, 158, 159, 165
 体制転換効果 172
 対テロ闘争高等委員会 46
 大統領警護隊 146, 147
 対内直接投資 19, 26
 ダヴォス会議 52
 ダヴトオール 38, 42, 53, 58
 タハリール広場 18, 89
 タマルド 35
 タミーム 87, 90, 95-98
 タンジール 112
 タンターウィー 90
 地域バランス 2, 195
 中央アジア 41, 59, 60, 106, 107
 中央条約機構 40
 中国 23, 32, 48
 中東条約機構 59
 中央治安軍 146, 147
 チュニジア 1, 5, 9, 11, 34, 35, 38, 55, 57,
 66, 67, 88, 90, 98, 102-104, 109, 111,
 113-115, 117, 118, 120, 126, 131, 132,
 143, 144
 ツイッター 90, 134
 デイヤルバクル 50, 63
 鉄槌 54
 テロとの戦い 17, 153
 電子ダッシュボード 138
 天然ガス 5, 22, 48, 86
 ドーハ 83, 89-92, 98, 118
 独立産業実業家協会 43
 ドバイ・ショック 109, 114, 115, 117
 トリキ 120
 トルコ 2-5, 9, 10, 15, 17, 23-27, 29-35, 37-
 46, 49, 50, 52-55, 57-60, 62, 63, 70-72,
 78, 159, 161
 トルコ・イスラーム総合 41

トルコ産業実業家協会 43
トルコ実業産業者連合 43
トルコ石油精製所株式会社 57
トルムタイ 59

【な行】

ナーセル 6, 7, 15-17, 98, 151, 163
ナジャフ 73, 79
南部分離派 145, 150, 157
ニターカート 137

【は行】

ハータミー 69, 71, 74, 75, 78
ハーディー 143-148, 151, 153, 155-157, 159,
161, 162
ハーフィズ・プログラム 138
ハーメネイー 66, 67, 77, 78
ハーリド・アル=アティーヤ 98
バシール 34
バセンドワ 145, 151
破綻国家 149
ハドラマウト 148, 153, 163, 165
バハレーン 3, 9, 11, 12, 14, 67-69, 73, 76-
79, 85, 88, 103, 104, 112, 133, 140, 169-
171, 177-179, 182, 186-191
ハマース 8, 15, 24-26, 28, 30, 70, 76, 87
ハマド 26, 34, 82, 84-87, 90, 91, 94-98, 121,
146-148, 162, 163, 170
ハマド・ビン・ジャースィム 84, 87
ハマド・ビン・ハリーフア 84, 86
ハリーフア 84-86, 112, 119, 169
ハリーフア基金 111, 112, 115
ハリーフア・ビン・ハマド 85
バルザーニー 62
パレスチナ 2, 7-9, 11, 17, 23, 24, 26, 29, 30,
33, 34, 69, 87, 109, 111, 112, 122, 190
—— 解放機構 74
潘基文 91
半島の盾軍 67, 170
ハンバル学派 131
非産油国 6, 117
ヒズブッラー 8, 45, 69, 74, 78

美徳党 → FP 37
ヒラーク 151, 157, 162, 163
ファイステイン 147
ファトワー 91, 98, 135, 141
ブー・サイド 192
フェルトマン 155
福祉党 → RP 37
ブラジル 32, 34, 52
フランス 92, 115, 117
プレステージ・シーキング 84, 86
米連邦捜査局 (FBI) 154
平和民主党 54
ベノマール 147, 151, 156, 162
ベレス 52
ベン・アリー 66, 88, 99, 131, 132, 144
法定最低賃金 19
ホメイニー 68, 73, 77-79

【ま行】

マーヴィ・マルマラ号事件 52
マーシャル・プラン 40
マイクロ・ステイツ 84
マラケシュ 98, 115
マルズーキ 34, 118
民間資金 → PF 101
民主統一党 55
ムスリム同胞団 15, 20, 25, 26, 29, 35, 71,
90, 91, 93, 96, 98, 139, 140
ムバラク 1, 10, 15-20, 22, 23, 25-32, 35,
66, 71, 82, 89-91
ムバツァア 120
ムハマド・アリ・アハマド 162
ムハマド・サーレハ・アハマル 146
ムルシー 10, 15, 16, 20-35, 70, 71, 78, 82,
90, 98
メッカ 23, 70, 78, 131
モウザ 87, 95
モハメッド6世 119
モロッコ 4, 5, 11, 88, 95, 98, 102-104, 107,
109, 112-115, 117-123, 126, 127, 156
門戸開放政策 7

【や行】

ヤヒヤ 146-148
 ユーチューブ 134, 140
 ユーフラテス川 42
 ユルマズ 41
 ヨルダン 1, 6, 8, 11, 88, 93-95, 98, 103, 104,
 109, 111, 119, 121, 122, 127, 148, 156

【ら行】

ラアス・ガス 95, 96
 ラダア 152, 154, 164
 ラバト 98, 115, 126, 127
 ラフサンジャーニー 71, 75, 78, 79
 リカーアート 137
 立憲君主制 98
 リビア 1, 4, 10, 11, 38, 54, 55, 57, 67, 83,
 87, 89-95, 103, 104, 109, 111, 112, 119,
 126, 131, 143, 154, 160
 —— 国民移行評議会 92
 —— の友会合 92
 リヤド 95, 132, 133, 137, 144, 156
 ルドム 153
 レイハンル 62
 レバノン 6-9, 17, 69, 73, 74, 77-79, 109
 レンティア国家 171-173
 レント 139, 171-174, 192
 ロウハーニー 82
 ロシア 47, 48
 ロングヴァ 175

【わ行】

ワックル・カルマン 162
 ワッハーブ主義 12, 131, 132, 136, 139, 140
 ワッハーブ派 131, 140
 湾岸アラブ諸国 1, 3, 6-8, 10-12, 14, 100-102,
 105-107, 114-119, 121, 126, 169-171,
 173-179, 190-192
 湾岸アラブ型エスノクラシー 175-177
 湾岸危機 17
 湾岸協力会議 12, 58, 67, 143
 湾岸戦争 7, 9, 17, 59, 85, 133, 192

執筆者紹介（執筆順）

つちやいちき 土屋一樹（序章，第1章）

所 属 ジェトロ・アジア経済研究所地域研究センター中東研究グループ

主要著作 『中東アラブ企業の海外進出』（編著，岩波書店 2013年），「政府と企業——1990年代から1.25革命まで——」伊能武次・土屋一樹編『エジプト動乱——1.25革命の背景——』（アジア経済研究所 2012年），『中東アラブ諸国における民間部門の発展』編著（アジア経済研究所 2010年）

いわさかまきみち 岩坂将充（第2章）

所 属 日本学術振興会特別研究員

主要著作 「EU加盟プロセスにおけるトルコの政軍関係：軍による民主化改革の受容とアタテュルク主義」『上智ヨーロッパ研究』第1号 2008年，「現代トルコ政治とドイツにおけるトルコ系住民：『体制』と世俗主義の観点から」河崎健編著『21世紀のドイツ：政治・経済・社会からみた過去・現在・未来』（上智大学出版 2011年），「トルコにおける軍の『公定アタテュルク主義』の模索と世俗主義」粕谷元編『トルコ共和国とラーイクリキ』SOIAS Research Paper Series No. 4, (2011年)

さかなし さち 坂梨 祥（第3章）

所 属 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究主幹

主要著作 「権威主義体制存続のメカニズムとイラン——『アラブの春』の激動の中で——」『中東諸国の体制変動と安定』（国際問題研究所 2012年），「イラン」松本弘編著『中東・イスラーム地域民主化ハンドブック』（明石書店 2011年），「イランの原子力開発と核不拡散問題の展望」『エネルギー経済』第34巻1号 2007年

ほりぬきこうじ 堀抜功二（第4章）

所 属 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員

主要著作 「湾岸諸国における国境と国家の存立構造——UAEの国境問題の展開を事例に——」『国際政治』第162号 2010年，「湾岸の春？—GCC諸国における政治変動・体制・国民」『中東政治変動の研究——「アラブの春」の現状と課題——』（日本国際問題研究所 2012年），「UAEにおける政治改革運動と体制の危機認識——2011年の建白書事件を事例に——」『アラブの春とアラビア半島の将来』（アジア経済研究所 2012年）

さいとう じゅん 齋藤 純（第5章）

所 属 ジェトロ・アジア経済研究所海外研究員（在アブダビ）

主要著作 「中東湾岸諸国通信企業の相互進出による通信市場の変化」土屋一樹編『中東アラブ企業の海外進出』（岩波書店 2013年），「アラブの春とカタール通信業の将来」『アラブの春とア

ラビア半島の将来』（アジア経済研究所 2012年）、「バハレーン通信部門における自由化政策と市場への影響」『アジア研ワールド・トレンド』2011年3月号、「湾岸諸国におけるイスラーム金融機関の成長と課題」濱田美紀・福田安志編『世界に広がるイスラーム金融 中東からアジア、ヨーロッパへ』（アジア経済研究所 2010年）

つじがみなみえ
辻上奈美江（第6章）

所 属 東京大学総合文化研究科中東地域研究センター特任准教授

主要著作 『現代サウディアラビアのジェンダーと権力』（福村出版 2011年）、「湾岸諸国の「アラブの春」：デモの波及、外交そしてビジネスチャンス」『「アラブの春」の将来』（日本国際問題研究所 2013年）「サウディアラビアの体制内権力」『中東政治学』（有斐閣 2012年）「サウジアラビア王国」『中東・イスラーム諸国民民主化ハンドブック』（明石書店 2011年）、「サイド『オリエンタリズム』」『グローバル政治理論』（人文書院 2011年）、「スピヴァク『サバルタンは語る事が出来るか』」土佐弘之編『グローバル政治理論』（人文書院 2011年）

さとうひろし
佐藤 寛（第7章）

所 属 ジェトロ・アジア経済研究所研究企画部長

主要著作 「イエメン～邪魔をしないと云う国際社会の役割～」『アジア研ワールドトレンド』2012年1月号、「イエメンものづくし」（アジア経済研究所 2001年）、「イエメン～もうひとつのアラビア」（アジア経済研究所 1994年）、「イエメンの首都サナア―七つの顔を持つ都市」『季刊民族学』第69号 1994年

まつおまさき
松尾昌樹（第8章）

所 属 宇都宮大学国際学部准教授

主要著作 『湾岸産油国 レンティア国家のゆくえ』（講談社メチエ 2010年）、「オマーンの国史の誕生 オマーン人と英植民地官僚によるオマーン史表象」（御茶の水書房、2012年）、「湾岸諸国における移民労働者」酒井啓子編『中東政治学』（有斐閣 2011年）

【表紙写真】

2012年9月イランで開催された非同盟諸国会議で、抱擁するムルシー・エジプト大統領(当時)とアフマディネジャド・イラン大統領(当時)。(IIPA/AP/アフロ提供)

[情勢分析レポートNo.19]

中東地域秩序の行方

——「アラブの春」と中東諸国の対外政策——

2013年8月28日発行

定価 [本体1,800円+税]

編者 土屋 一樹

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 岩橋印刷株式会社

表紙デザイン 岩橋印刷株式会社

情勢分析レポート No.19

ISBN978-4-258-30020-4
C3331 ¥1800E



9784258300204

定価（本体1,800円＋税）



1923331018003

中東地域秩序の行方

—「アラブの春」と中東諸国の対外政策—

土屋一樹 編